



< 報道発表資料 >

2024年9月25日

富士山頂での夏期観測終了、富士山測候所を9月6日に閉所

認定NPO法人富士山測候所を活用する会は、9月6日（金）に商用電源を停止し、富士山測候所を閉所しました。18年目となる夏期観測は、68日間の観測期間に延べ401名の研究者が32プロジェクトを実施しました。研究成果はウェブサイトに速報を掲載するほか2025年3月に開催予定の第18回成果報告会で発表いたします。

認定NPO法人富士山測候所を活用する会は、気象庁から富士山測候所庁舎の一部を借り受け、毎年公募で選ばれたグループの研究・活用に供しています。2024年の夏期観測では、内容を充実させた32プロジェクト（研究、活用、トライアル）が実施されました。

研究部門では、初の科学研究費補助金事業となった「電磁気学的データの高度情報処理を主とした富士山噴火予測精度の向上に関する研究」として富士山における全磁力測定による火山噴火監視がスタート。昨年、世界的に注目されたマイクロプラスチックの観測研究や火山ガスを含めた微量ガスの連続観測などの継続研究が行われました。



更に、高所医学グループによる研究が5年ぶりに行われ「富士山における睡眠時無呼吸症候群の評価及び急性高山病、血圧への影響」や「高所滞在中の血行動態に自律神経が及ぼす影響についての検討」のプロジェクトが実施されました。

新たに火山噴出物に関する地質学的な研究も加わり、富士山ならではの立地を利用した研究分野の拡がりが見られるシーズンになりました。

（写真：高所医学研究グループによる自律神経機能の測定風景）

活用部門では、2020年に行ったクラウドファンディングのリターンとして「富士山科学学校」が行われ、また、今年で3年目の参加になる青山シビルエンジニアリング株式会社による「今現在の富士山の気象観測情報を提供するサイトイマフジ。今の富士山の気象を知る」のデータ観測も本格稼働しました。

2024夏期観測のプロジェクトの一部は、一般財団法人WNI気象文化創造センター、Yahoo! 基金、公益信託大成建設自然・歴史環境基金、富士山後継事業費補助金からの助成、一般財団法人新技術振興渡辺記念会からの受託を受け実施されました。また、ユビックス株式会社からは、パルスオキシメーターと非接触放射体温計の無償貸与を2021年から継続して受けています。

ウェブサイト、ブログ、SNS等でも情報を発信しています。

ウェブサイト (<https://npofuji3776.org>)

X.com (<https://twitter.com/NPO69468432>)、Facebook (<https://www.facebook.com/npofuji3776>)

Instagram (https://www.instagram.com/npo_mt.fuji_research_station)

ブログ太郎坊のそよ風：<http://npofuji3776.blog.jp/>

※夏期観測の取材申し込み、写真の使用については事務局までお問い合わせください。

■ 本件に関するお問い合わせ先

認定NPO法人 富士山測候所を活用する会事務局 TEL：03-6273-9723 E-mail：tyo-ofc@npofuji3776.org